



No. 9-1  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成25年度第4回

一般国道27号

にし まい づ る  
西 舞 鶴 道 路

【再評価】

平成25年12月  
近畿地方整備局

# 目次

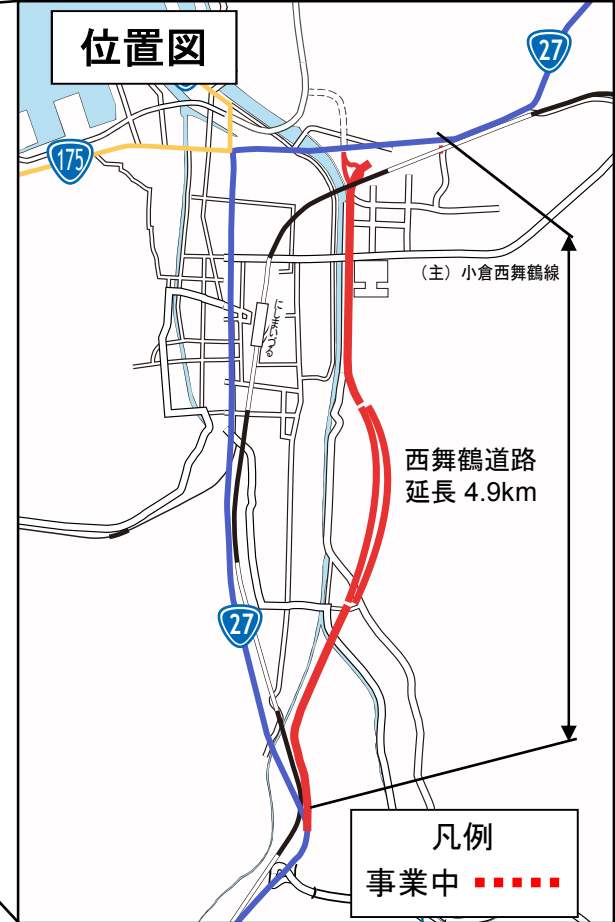
1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
  - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
  - 2) 事業の整備効果
  - 3) 事業の投資効果
  - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

# 事業全体図



国道 27 号は、福井県敦賀市を起点とし、京都府船井郡京丹波町に至る約 144km の幹線道路であり、京都府北部地域、福井県嶺南地域の経済、産業、生活を支える道路です。

西舞鶴道路は、舞鶴市上安と舞鶴市京田を結ぶ約 4.9km のバイパスで、舞鶴市西地区の交通渋滞の緩和や京都舞鶴港と舞鶴若狭自動車道とのアクセス改善を図ること等を目的とした、新しいまちづくりに貢献する道路です。



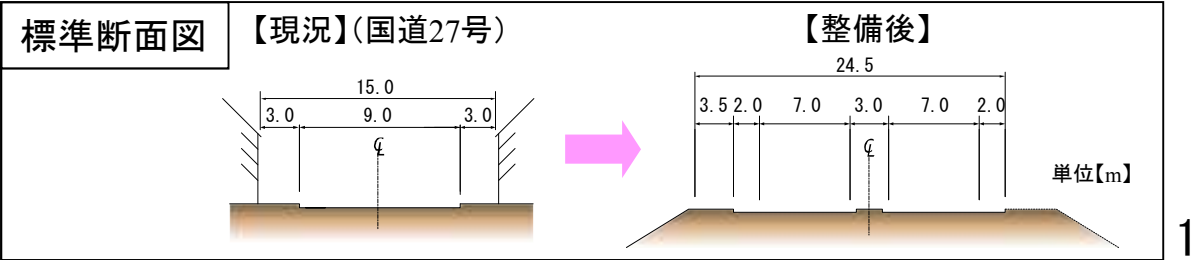
# 1. 事業の概要

## 事業の目的

- 交通混雑の緩和
- 高速道路へのアクセス強化
- 交通安全の確保
- 災害への備え

## 事業の概要、進捗状況

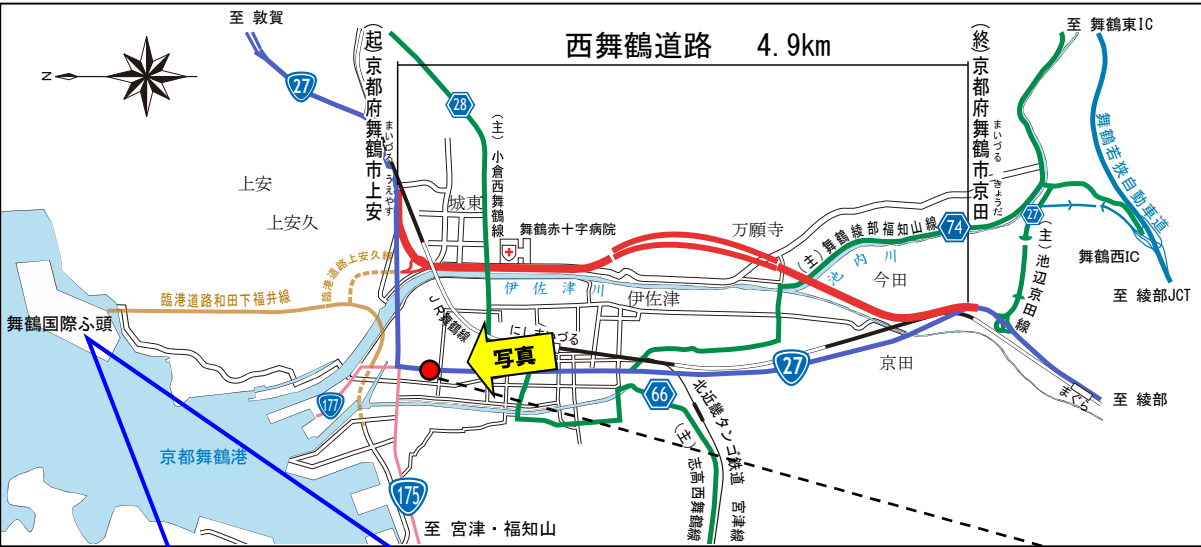
区間	まいづる うえやす (起) 京都府舞鶴市上安 まいづる きよだ (終) 京都府舞鶴市京田
道路延長	4.9km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	24.5m(土工部)
計画交通量	22,500台/日
全体事業費	245億円
事業化	平成19年度
都市計画決定	平成3年2月
用地着手	平成25年度
事業進捗率	約5%(平成25年3月末現在)
用地取得率	0%(面積ベース、同上)



# 2. 事業の必要性に関する視点

## 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化(交通量)

- 京都舞鶴港は近畿圏の日本海側に位置する唯一の重要港湾で、H22年4月に舞鶴国際ふ頭が完成。
- 舞鶴西地区の国道27号の交通量は近年横ばいで推移。



えんまんじ  
写真: 舞鶴市円満寺付近の混雑状況



H25年8月28日撮影

平成22年4月、京都舞鶴港に舞鶴国際ふ頭が完成

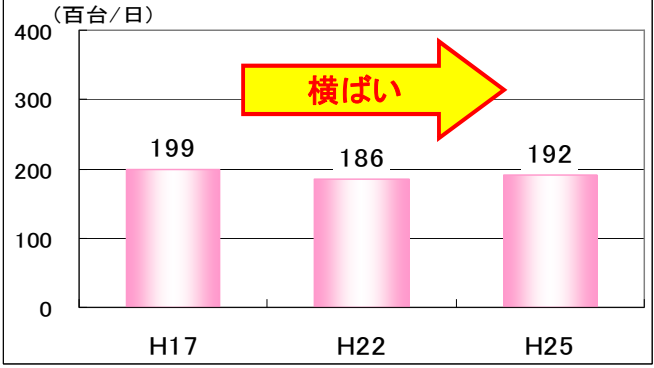
- ・日本海側最大級の水深14mの岸壁
- ・5万トン級船舶が接岸可能
- ・広い荷さばき地



写真: 舞鶴国際ふ頭(京都舞鶴港振興会HPより)

平成23年11月、国土交通省より、日本海側拠点港に選定される

えんまんじ  
国道27号の24時間交通量(舞鶴市円満寺)

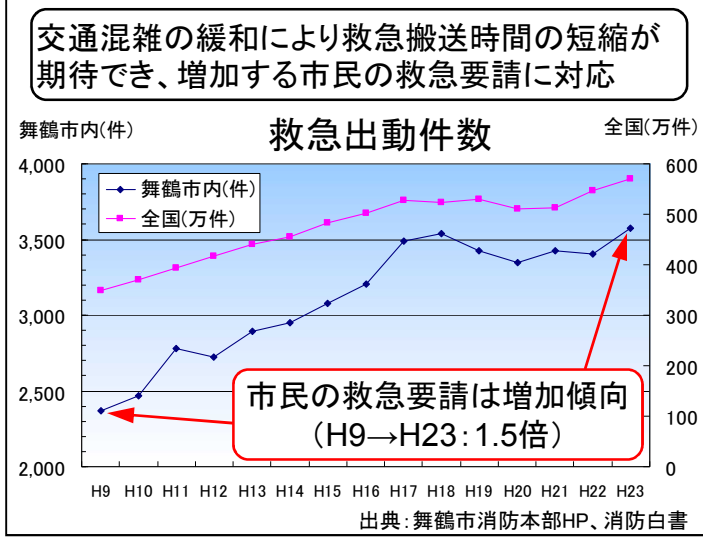
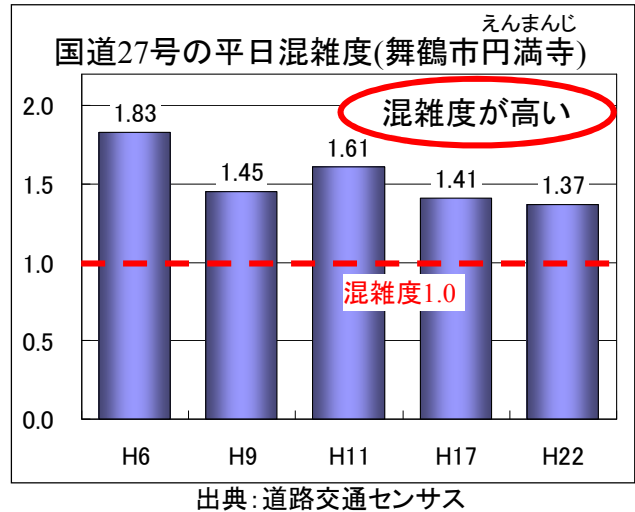
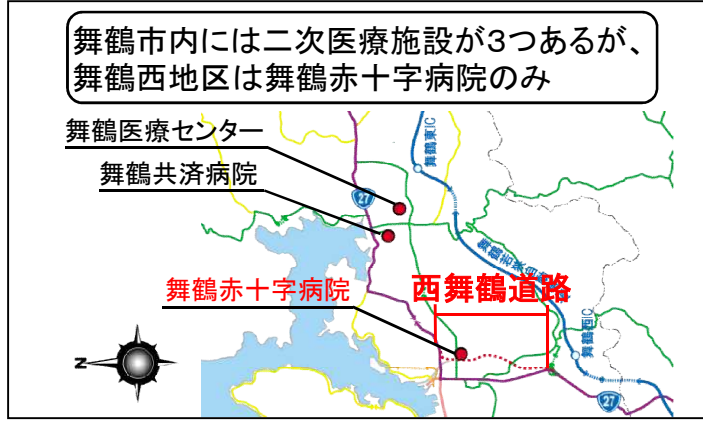
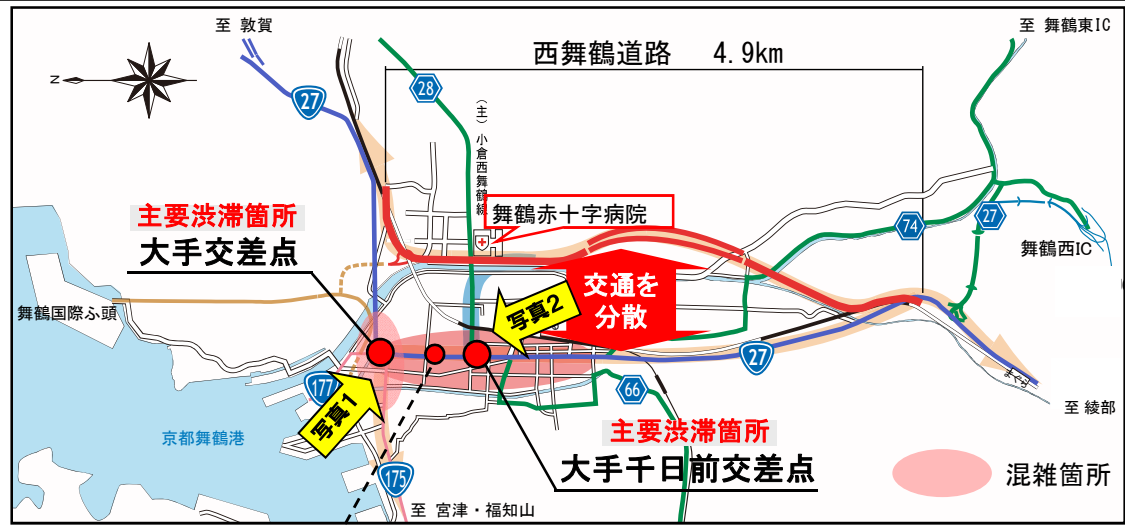


出典: H17,H22: 道路交通センサス  
H25: 8月7日昼間12H観測値×H22センサス昼夜率

# 2. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 主要渋滞箇所である大手交差点、大手千日前交差点では平休日ともに交通混雑が発生している。
- 西舞鶴道路の整備により大手交差点へ流入する交通が分散し、交通混雑の緩和や二次医療施設である舞鶴赤十字病院への走行性の向上が期待される。

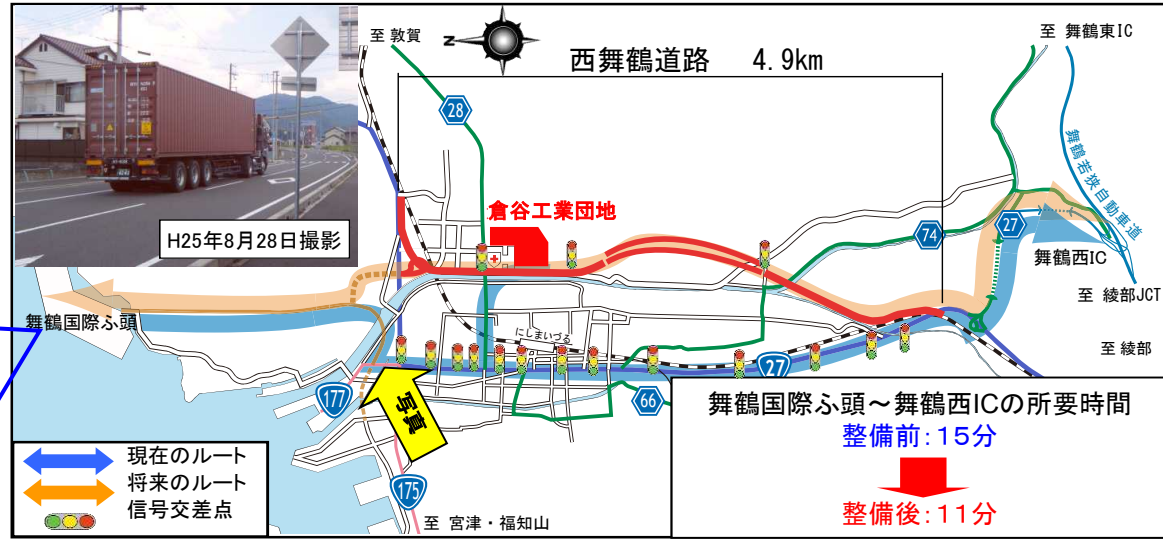
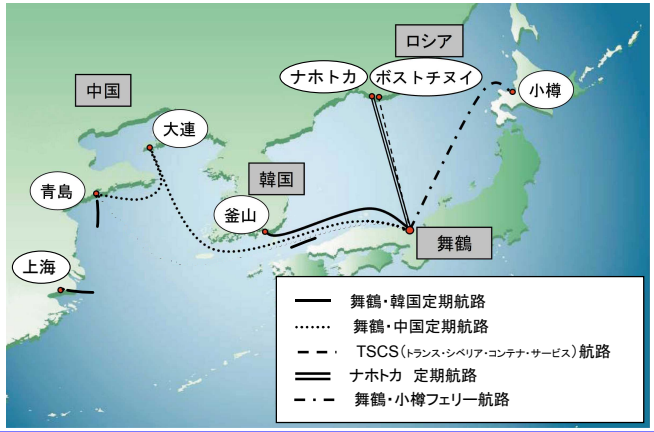


# 2. 事業の必要性に関する視点

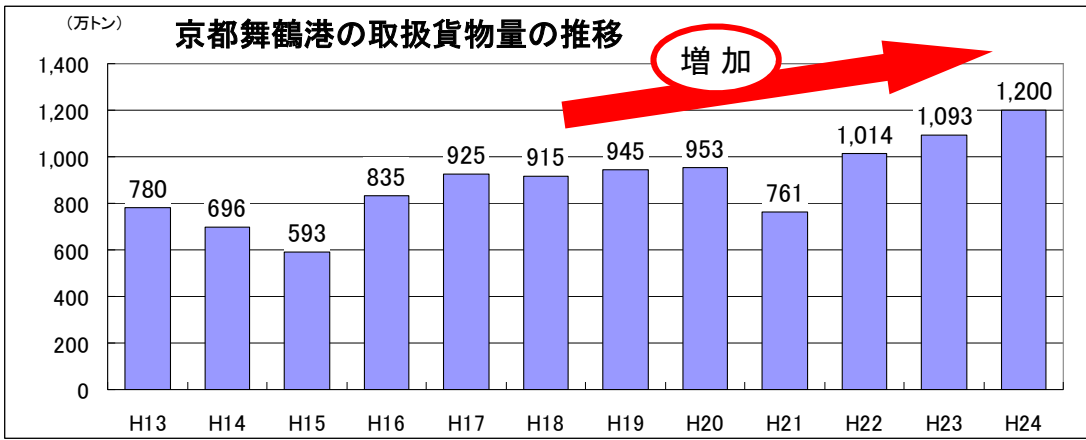
## 2) 事業の整備効果(高速道路へのアクセス強化)

- 舞鶴西地区の国道27号は交差点が連続し、交通混雑により舞鶴西ICとのアクセスに課題。
- 西舞鶴道路の整備により京都舞鶴港（重要港湾）や西舞鶴道路沿道にある倉谷工業団地と舞鶴西ICとのアクセス性が向上し、物流の効率化により、産業振興が期待される。

○京都舞鶴港は近畿北部の物流拠点として、またロシアをはじめ対岸諸国との貿易の拠点として重要な位置にあります。



出典: H22道路交通センサス



### 京都舞鶴港を事業拠点とする運送業者さんの声



・ 西舞鶴道路が開通することで、混雑する市街地を通らずに京都舞鶴港～舞鶴西ICがつながることには大きなメリットがあります。

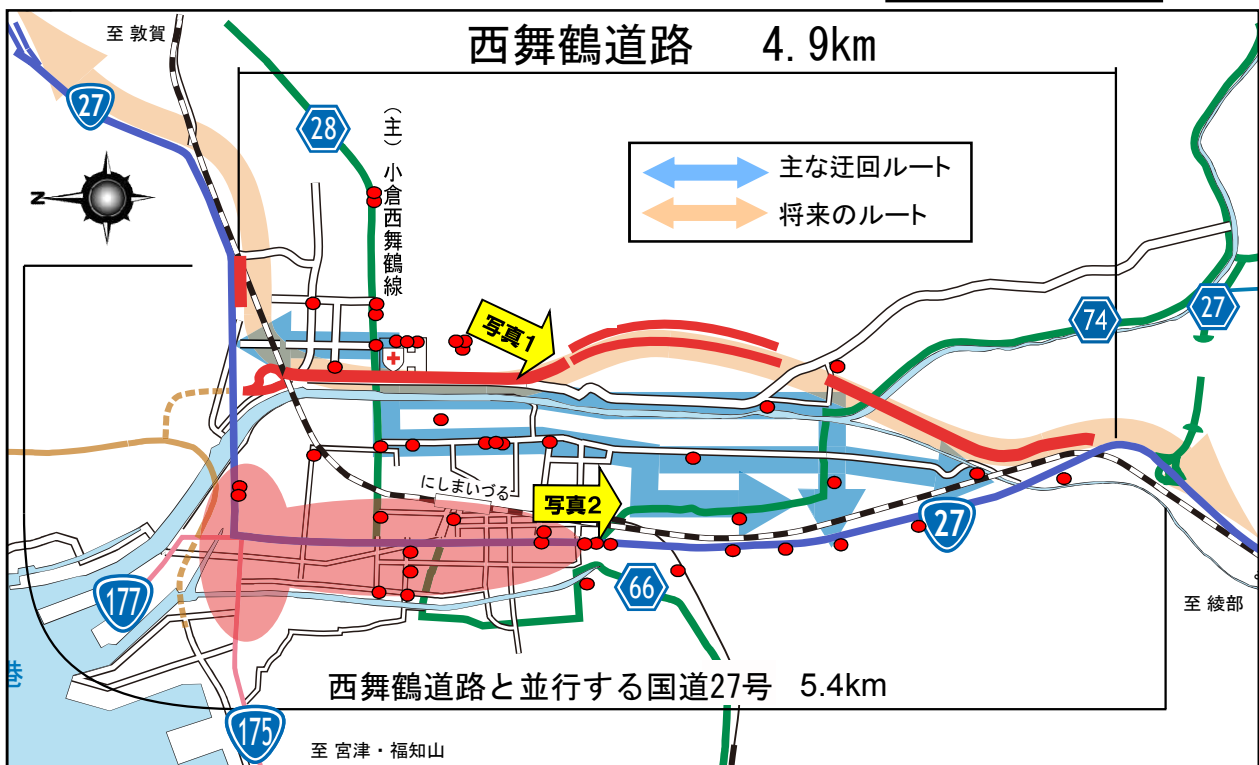
# 2. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 西舞鶴道路並行区間の国道27号は死傷事故率が高く、交通事故件数の削減が課題。
- 国道27号の交通混雑を迂回するため、住宅地内の生活道路に流入する交通があり、人身事故が発生するなど安全性の確保が課題。
- 西舞鶴道路の整備により生活道路を走る交通が転換され、生活道路の安全性向上が期待できる。

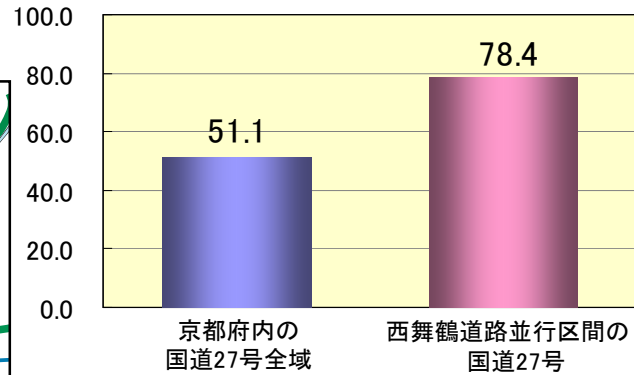
舞鶴市西地区の人身事故発生箇所

● 人身事故発生箇所  
 ○ 混雑箇所



西舞鶴道路と並行する国道27号の死傷事故率

(件/億台キロ) 出典: 交通事故総合データベース(H20~H23の平均)



住宅地内の生活道路の状況



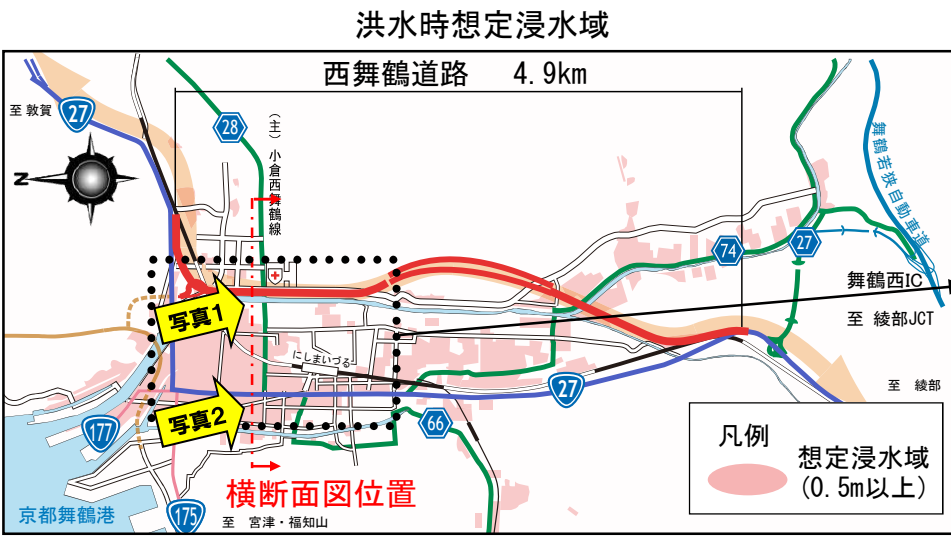
出典: 舞鶴警察署提供資料(H23.1.1~H24.5.31)



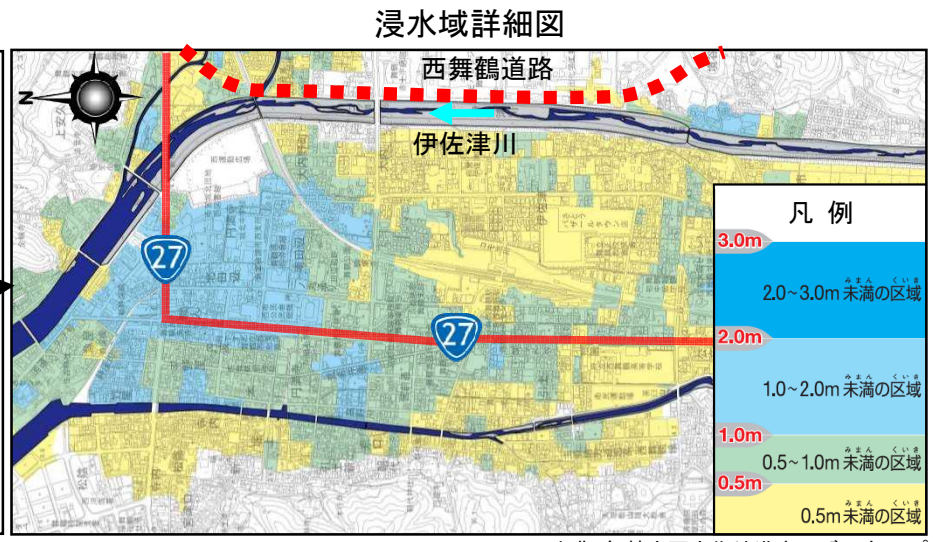
# 2. 事業の必要性に関する視点

## 2) 事業の整備効果(災害への備え)

- 国道27号は洪水時想定浸水域に位置し、H16年23号台風水害では道路冠水により通行不能が発生。
- 西舞鶴道路は想定浸水高よりも高い位置に整備し、緊急輸送用道路としての機能を確保。



想定雨量：総雨量385mm(H16年台風23号の府下最大雨量)



出典：舞鶴市西市街地洪水ハザードマップ

写真1 西舞鶴道路



西舞鶴道路完成後のイメージ

横断面図

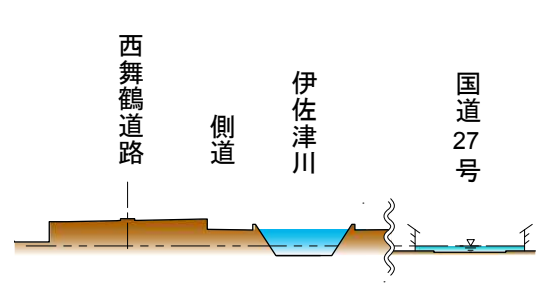
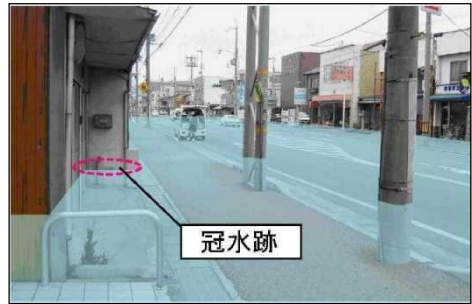


写真2 国道27号

H16年23号台風による冠水状況



(冠水跡をもとにフォトモンタージュで再現)

出典：舞鶴市役所調べ

# 2. 事業の必要性に関する視点

## 3) 事業の投資効果

### ■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

### ■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

### ■ 事業全体

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	318億円	36億円	12億円	366億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	188億円		26億円	214億円	

### ■ 算出条件等

- 基準年 : 平成25年度
- 検討期間 : 50年間
- 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
- 交通量の推計時点 : 平成42年度
- 推計に用いた資料 : 平成17年度道路交通センサス
- 適用した費用便益分析マニュアル : 平成20年11月版
- 事業費 : 245億円
- 維持管理費 : 35百万円/km
- 作成主体 : 近畿地方整備局

### ■ 残事業

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	318億円	36億円	12億円	366億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	175億円		26億円	201億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である  
 ※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある  
 ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

# 2. 事業の必要性に関する視点

## 4) 地域における計画等

### 地域計画等への位置付け

西舞鶴道路は、下記の計画に位置づけられている。

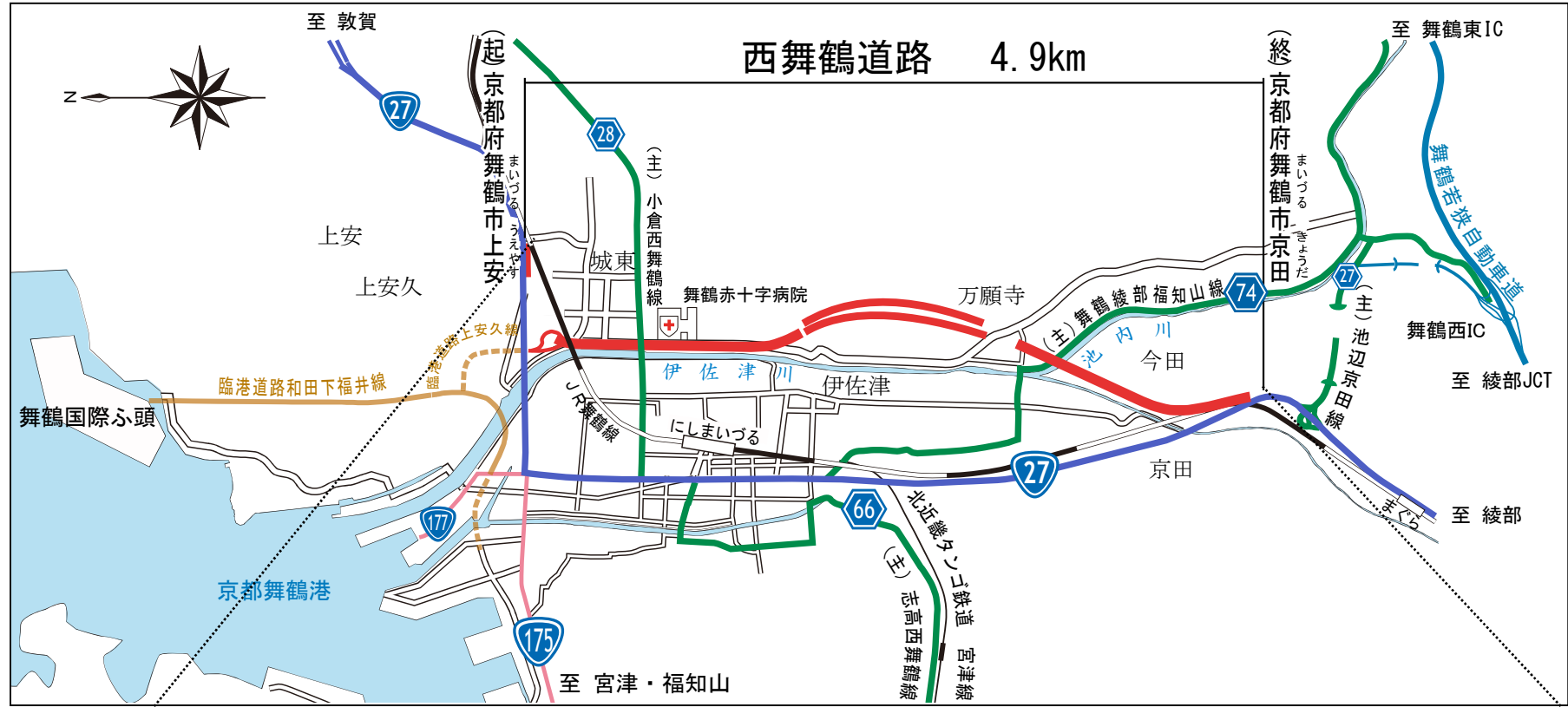
- 明日の京都中期計画 (京都府:H23年1月)
- 明日の京都中丹地域振興計画重点施策 (京都府中丹広域振興局:H23年1月)
- 新たな舞鶴市総合計画 (舞鶴市:H23年8月)
- 舞鶴市都市計画マスタープラン (舞鶴市:H24年3月)

### これまでの経緯

- 平成13年3月 舞鶴市「新しい舞鶴市総合計画」において、近隣市町との連結強化を促進する幹線道路として、国道27号(西市街地バイパス)があげられる。
- 平成16年2月 舞鶴市「都市計画マスタープラン」において、広域幹線道路として西舞鶴道路の整備があげられる。
- 平成19年3月 京都府「緊急輸送道路ネットワーク計画書」において、国道27号全線が第一次緊急輸送道路に指定される。
- 平成22年1月 舞鶴市「重点課題に関する要望」において、西舞鶴道路の整備促進を政府に要望
- 平成25年8月 舞鶴市「要望書」において、西舞鶴道路の早期整備を政府に要望

# 3. 事業進捗の見込みの視点

- 西舞鶴道路は平成19年度に事業化し、用地買収および調査・設計を進めています。
- 引き続き事業を推進し、早期の供用を目指します。



区間	4.9km
用地	用地取得(0%)
工事	調査・設計 推進中

※用地進捗率は、平成25年3月末の面積ベース

# 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

西舞鶴道路の計画は、地形、周辺の土地利用状況、主要幹線道路等との接続をはじめ、まちづくりとの整合を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺の環境や景観の保全を図っています。



今後も、詳細な測量・地質調査を実施し、設計において土工・橋梁等の計画、新技術・新工法を活用する等、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

# 5. 関係自治体の意見

## ■京都府知事

平成25年11月26日 5道計第241号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道27号西舞鶴道路は、周辺地域の交通渋滞の緩和、舞鶴若狭自動車道と京都舞鶴港とのアクセス改善が期待されており、対応方針(原案)のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成をお願いします。

## 1. 事業の必要性等に関する視点

- ・京都舞鶴港では、平成22年4月に5万トン級船舶が接岸可能な舞鶴国際ふ頭が完成。
- ・国道27号の交通量は交通容量を超過している。
- ・西舞鶴道路の整備により京都舞鶴港と舞鶴若狭自動車道 舞鶴西ICとのアクセス性が向上し、物流の効率化により、産業振興や地域活性化が期待できる。
- ・西舞鶴道路の整備により国道27号の交通混雑を緩和し、第二次医療施設である舞鶴赤十字病院への走行性向上が期待できる。
- ・西舞鶴道路の整備により生活道路を走る交通が転換され、生活道路の安全性向上が期待できる。
- ・費用便益比(B/C)は全体事業費で1.7、残事業費で1.8。

## 2. 事業進捗の見込みの視点

- ・西舞鶴道路は、平成19年度に事業化し、用地買収および調査設計を進めています。
- ・引き続き事業を推進し、早期の全線供用を目指します。

西舞鶴道路は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

**事業継続**



No. 9-2  
近畿地方整備局  
事業評価監視委員会  
平成25年度第4回

一般国道27号  
にしまいづる  
西舞鶴道路

【再評価】

平成25年12月  
近畿地方整備局



【前回評価時との比較表】

【 参考資料 】

平成25年度 第4回事業評価監視委員会

事業名：一般国道27号 西舞鶴道路（道路種別：一般国道）

事業化年度：平成19年度

	前回評価時	今回評価	(主な変更点)
	平成22年度	平成25年度	
再評価理由	事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業	再評価後3年間が経過	
事業諸元	延長:4.9km 幅員:22.0~24.5m 種級:第3種第2級 設計速度:60km/h 車線数:4車線	同左	・変更なし
全体事業費	245億円	同左	・変更なし
進捗状況	進捗率(事業費)約2% 用地取得率(面積)0% 供用延長:0.0km	進捗率(事業費)約5% 用地取得率(面積)0% 供用延長:0.0km	・進捗率(事業費)で約3%進捗
進捗率(事業費)	約2%	約5%	・約3%進捗
費用対効果B/C	1.7 (残事業 1.8)	1.7 (残事業1.8)	①推計手法の改善(第二段階)を反映した将来OD表 ②評価年、各年度事業費、GDPデフレータの時点修正(H25)等
備考	・引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す		

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道27号 西舞鶴道路
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1.7 (経済的純現在価値 (B-C) = 152億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 7.3%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 1.8 (経済的純現在価値 (B-C) = 165億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 7.9%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠	
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 11573万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 101万人・時間/年 (19838万人・時間/年⇒19737万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 一般国道27号 (主)池辺京田線 (主)舞鶴綾部福知山線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 107万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 5割削減	
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上で踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	京都交通バス	
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	京都舞鶴港(国際ふ頭)～綾部市役所 (所要時間 : 31分→27分)	
		<input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	舞鶴市、主な出荷先 : 京都市中央卸売市場 (特産品 : 万願寺甘とう)	
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		
	1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	

		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km <sup>2</sup> 以下である市街地内での事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	舞鶴市DID区域内 (都市計画道路網密度: 2.6km/km <sup>2</sup> →2.7km/km <sup>2</sup> )
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する(A'路線としての位置づけがある場合)	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
2.暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての間に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> バリアフリー新法に基づく特定道路が新たにバリアフリー化される	

	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり <input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる <input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
		<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する <input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	京都府緊急輸送道路ネットワーク計画(国道27号：第一次緊急輸送道路)
	<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）		
	<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する		
	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</li> </ul>	CO2排出削減量：3692.78t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等における自動車からのNO2排出削減率</li> </ul>	(推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道27号（主）池辺京田線（主）舞鶴綾部福知山線 排出削減量：20.63t/年、排出削減率：4割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてNOx排出増加量：13.79t/年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現道等における自動車からのSPM排出削減率</li> </ul>	(推計結果) 評価対象区間（現道／平行区間等）：一般国道27号（主）池辺京田線（主）舞鶴綾部福知山線 排出削減量：1.2t/年、排出削減率：4割削減 (バイパス事業の場合) バイパス等についてSPM排出増加量：0.78t/年
<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される			
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他	<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が期待される

(再評価)

様式-2

## 費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道27号	西舞鶴道路	L=4.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
22,500	4車線	近畿地方整備局

### ① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成25年度		
単純合計	233億円	82億円	315億円
うち残事業分	221億円	82億円	302億円
基準年における 現在価値 (C)	188億円	26億円	214億円
うち残事業分	175億円	26億円	201億円

### ② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成25年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	22億円	2.5億円	0.86億円	26億円
基準年における 現在価値 (B)	318億円	36億円	12億円	366億円
うち残事業分	318億円	36億円	12億円	366億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	152億円
経済的内部収益率（事業全体）	7.3%
費用便益比（残事業）	1.8
経済的純現在価値（残事業）	165億円
経済的内部収益率（残事業）	7.9%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （全事業）	22,500台/日	±10%	1.3~2.1
事業費 （全事業）	221億円	±10%	1.6~1.9
事業期間 （全事業）	8年	±20%	1.6~1.8

【残事業】

	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量 （残事業）	22,500台/日	±10%	1.4~2.3
事業費 （残事業）	221億円	±10%	1.7~2.0
事業期間 （残事業）	8年	±20%	1.7~1.9

# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：西舞鶴道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (4.9km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	15,100	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	17.63	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道27号 (4.4km)	交通量	[台/日]	26,800	15,500
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	53.62	21.70
	(主)池辺京田線 (8.1km)	交通量	[台/日]	5,100	4,800
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	24.97	23.94
	(主)舞鶴綾部福知山線 (3.6km)	交通量	[台/日]	3,600	3,100
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	5.53	4.62
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (3.617.6km)	走行時間費用	[億円/年]	11,245.28	11,238.89	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,638.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,329.40	11,306.77	22.63

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

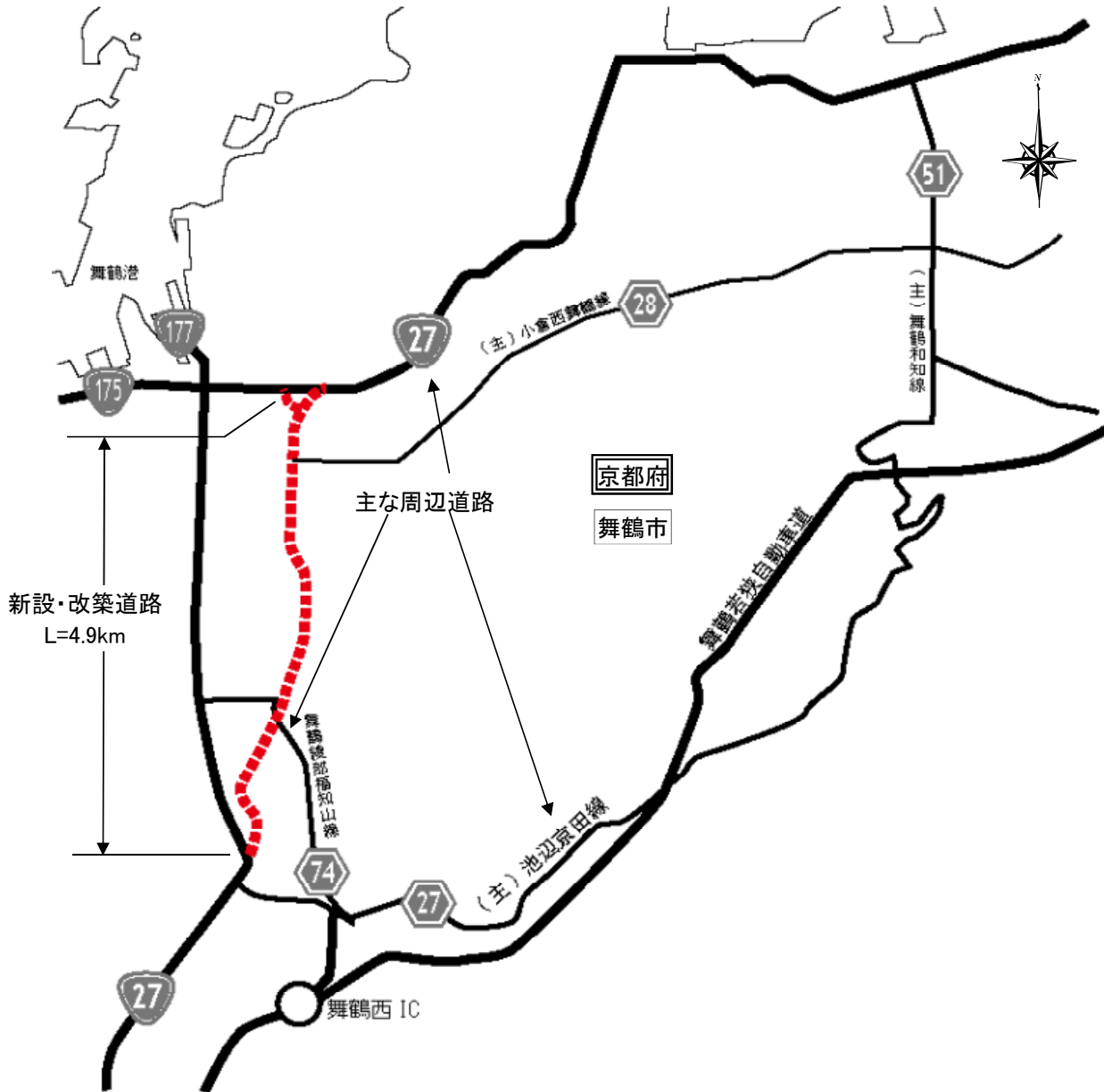
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること





# 交通状況の変化

様式-3①

## 事業名：西舞鶴道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (4.9km)	交通量 <sup>※1</sup>	[台/日]	0	15,100	
	走行時間 <sup>※2</sup>	[分]	0	7	
	走行時間費用 <sup>※3</sup>	[億円/年]	0.00	17.63	
②主な周辺道路 <sup>※4</sup>	一般国道27号 (4.4km)	交通量	[台/日]	26,800	15,500
		走行時間	[分]	12	8
		走行時間費用	[億円/年]	53.62	21.70
	(主)池辺京田線 (8.1km)	交通量	[台/日]	5,100	4,800
		走行時間	[分]	30	30
		走行時間費用	[億円/年]	24.97	23.94
	(主)舞鶴綾部福知山線 (3.6km)	交通量	[台/日]	3,600	3,100
		走行時間	[分]	9	9
		走行時間費用	[億円/年]	5.53	4.62
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
③その他道路合計 (3.617.6km)	走行時間費用	[億円/年]	11,245.28	11,238.89	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,638.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,329.40	11,306.77	22.63

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。（上表は当該道路内の延長による加重平均値を記載）

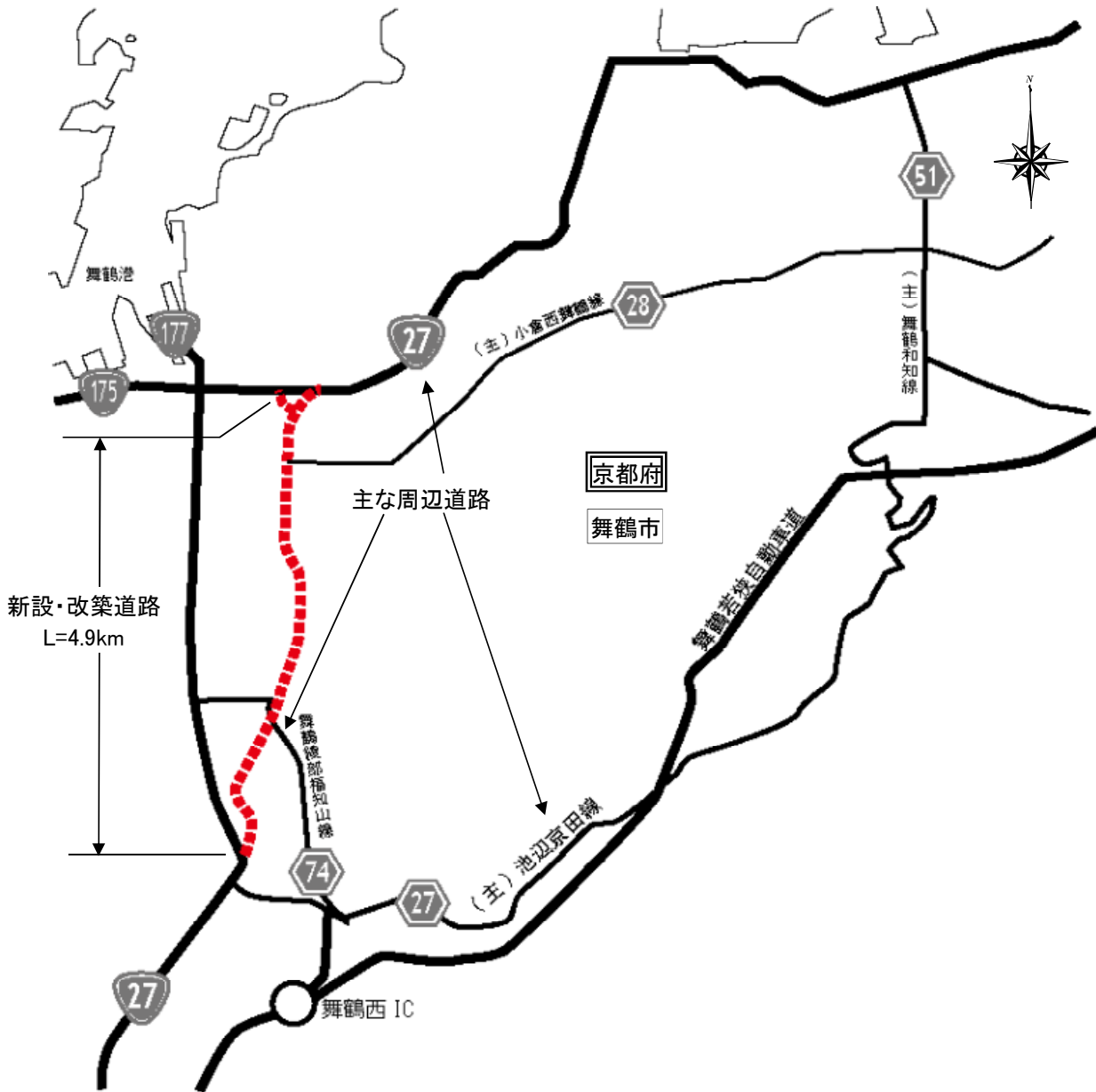
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



# 費用便益分析の条件

事業名：西舞鶴道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他( )	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	( )台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他( )	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	
	その他( )	<input type="checkbox"/>

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	( ) %
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	( ) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	( ) 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ( )	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				



## 費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道27号 西舞鶴道路

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	現在価値
				0.35	4.9	1.72	
-15年目	H 19 2007	1.2653	97.6	1.76	2.10		
-14年目	H 20 2008	1.2167	96.8	0.50	0.57		
-13年目	H 21 2009	1.1699	95.6	0.30	0.33		
-12年目	H 22 2010	1.1249	93.7	0.16	0.18		
-11年目	H 23 2011	1.0816	92.1	0.48	0.52		
-10年目	H 24 2012	1.0400	92.1	7.73	8.04		
-9年目	H 25 2013	1.0000	92.1	1.90	1.90		
-8年目	H 26 2014	0.9615	92.1	0.48	0.46		
-7年目	H 27 2015	0.9246	92.1	0.95	0.88		
-6年目	H 28 2016	0.8890	92.1	29.90	26.59		
-5年目	H 29 2017	0.8548	92.1	50.83	43.45		
-4年目	H 30 2018	0.8219	92.1	52.38	43.05		
-3年目	H 31 2019	0.7903	92.1	47.62	37.63		
-2年目	H 32 2020	0.7599	92.1	29.38	22.33		
-1年目	H 33 2021	0.7307	92.1	8.96	6.55		
供用開始年次	H 34 2022	0.7026	92.1			1.64	1.15
1年目	H 35 2023	0.6756	92.1			1.64	1.11
2年目	H 36 2024	0.6496	92.1			1.64	1.06
3年目	H 37 2025	0.6246	92.1			1.64	1.02
4年目	H 38 2026	0.6006	92.1			1.64	0.98
5年目	H 39 2027	0.5775	92.1			1.64	0.95
6年目	H 40 2028	0.5553	92.1			1.64	0.91
7年目	H 41 2029	0.5339	92.1			1.64	0.87
8年目	H 42 2030	0.5134	92.1			1.64	0.84
9年目	H 43 2031	0.4936	92.1			1.64	0.81
10年目	H 44 2032	0.4746	92.1			1.64	0.78
11年目	H 45 2033	0.4564	92.1			1.64	0.75
12年目	H 46 2034	0.4388	92.1			1.64	0.72
13年目	H 47 2035	0.4220	92.1			1.64	0.69
14年目	H 48 2036	0.4057	92.1			1.64	0.66
15年目	H 49 2037	0.3901	92.1			1.64	0.64
16年目	H 50 2038	0.3751	92.1			1.64	0.61
17年目	H 51 2039	0.3607	92.1			1.64	0.59
18年目	H 52 2040	0.3468	92.1			1.64	0.57
19年目	H 53 2041	0.3335	92.1			1.64	0.55
20年目	H 54 2042	0.3207	92.1			1.64	0.53
21年目	H 55 2043	0.3083	92.1			1.64	0.51
22年目	H 56 2044	0.2965	92.1			1.64	0.49
23年目	H 57 2045	0.2851	92.1			1.64	0.47
24年目	H 58 2046	0.2741	92.1			1.64	0.45
25年目	H 59 2047	0.2636	92.1			1.64	0.43
26年目	H 60 2048	0.2534	92.1			1.64	0.42
27年目	H 61 2049	0.2437	92.1			1.64	0.40
28年目	H 62 2050	0.2343	92.1			1.64	0.38
29年目	H 63 2051	0.2253	92.1			1.64	0.37
30年目	H 64 2052	0.2166	92.1			1.64	0.35
31年目	H 65 2053	0.2083	92.1			1.64	0.34
32年目	H 66 2054	0.2003	92.1			1.64	0.33
33年目	H 67 2055	0.1926	92.1			1.64	0.32
34年目	H 68 2056	0.1852	92.1			1.64	0.30
35年目	H 69 2057	0.1780	92.1			1.64	0.29
36年目	H 70 2058	0.1712	92.1			1.64	0.28
37年目	H 71 2059	0.1646	92.1			1.64	0.27
38年目	H 72 2060	0.1583	92.1			1.64	0.26
39年目	H 73 2061	0.1522	92.1			1.64	0.25
40年目	H 74 2062	0.1463	92.1			1.64	0.24
41年目	H 75 2063	0.1407	92.1			1.64	0.23
42年目	H 76 2064	0.1353	92.1			1.64	0.22
43年目	H 77 2065	0.1301	92.1			1.64	0.21
44年目	H 78 2066	0.1251	92.1			1.64	0.20
45年目	H 79 2067	0.1203	92.1			1.64	0.20
46年目	H 80 2068	0.1157	92.1			1.64	0.19
47年目	H 81 2069	0.1112	92.1			1.64	0.18
48年目	H 82 2070	0.1069	92.1			1.64	0.18
49年目	H 83 2071	0.1028	92.1	-59.56	-6.12	1.64	0.17
合計						81.90	25.72
単純事業費計					233.33		81.90

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

## 費用の現在価値算定表(残事業)

箇所名:一般国道27号 西舞鶴道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.35	4.9	1.72	
-8年目	H 26 2014	0.9615	92.1	0.48	0.46		
-7年目	H 27 2015	0.9246	92.1	0.95	0.88		
-6年目	H 28 2016	0.8890	92.1	29.90	26.59		
-5年目	H 29 2017	0.8548	92.1	50.83	43.45		
-4年目	H 30 2018	0.8219	92.1	52.38	43.05		
-3年目	H 31 2019	0.7903	92.1	47.62	37.63		
-2年目	H 32 2020	0.7599	92.1	29.38	22.33		
-1年目	H 33 2021	0.7307	92.1	8.96	6.55		
供用開始年次	H 34 2022	0.7026	92.1			1.64	1.15
1年目	H 35 2023	0.6756	92.1			1.64	1.11
2年目	H 36 2024	0.6496	92.1			1.64	1.06
3年目	H 37 2025	0.6246	92.1			1.64	1.02
4年目	H 38 2026	0.6006	92.1			1.64	0.98
5年目	H 39 2027	0.5775	92.1			1.64	0.95
6年目	H 40 2028	0.5553	92.1			1.64	0.91
7年目	H 41 2029	0.5339	92.1			1.64	0.87
8年目	H 42 2030	0.5134	92.1			1.64	0.84
9年目	H 43 2031	0.4936	92.1			1.64	0.81
10年目	H 44 2032	0.4746	92.1			1.64	0.78
11年目	H 45 2033	0.4564	92.1			1.64	0.75
12年目	H 46 2034	0.4388	92.1			1.64	0.72
13年目	H 47 2035	0.4220	92.1			1.64	0.69
14年目	H 48 2036	0.4057	92.1			1.64	0.66
15年目	H 49 2037	0.3901	92.1			1.64	0.64
16年目	H 50 2038	0.3751	92.1			1.64	0.61
17年目	H 51 2039	0.3607	92.1			1.64	0.59
18年目	H 52 2040	0.3468	92.1			1.64	0.57
19年目	H 53 2041	0.3335	92.1			1.64	0.55
20年目	H 54 2042	0.3207	92.1			1.64	0.53
21年目	H 55 2043	0.3083	92.1			1.64	0.51
22年目	H 56 2044	0.2965	92.1			1.64	0.49
23年目	H 57 2045	0.2851	92.1			1.64	0.47
24年目	H 58 2046	0.2741	92.1			1.64	0.45
25年目	H 59 2047	0.2636	92.1			1.64	0.43
26年目	H 60 2048	0.2534	92.1			1.64	0.42
27年目	H 61 2049	0.2437	92.1			1.64	0.40
28年目	H 62 2050	0.2343	92.1			1.64	0.38
29年目	H 63 2051	0.2253	92.1			1.64	0.37
30年目	H 64 2052	0.2166	92.1			1.64	0.35
31年目	H 65 2053	0.2083	92.1			1.64	0.34
32年目	H 66 2054	0.2003	92.1			1.64	0.33
33年目	H 67 2055	0.1926	92.1			1.64	0.32
34年目	H 68 2056	0.1852	92.1			1.64	0.30
35年目	H 69 2057	0.1780	92.1			1.64	0.29
36年目	H 70 2058	0.1712	92.1			1.64	0.28
37年目	H 71 2059	0.1646	92.1			1.64	0.27
38年目	H 72 2060	0.1583	92.1			1.64	0.26
39年目	H 73 2061	0.1522	92.1			1.64	0.25
40年目	H 74 2062	0.1463	92.1			1.64	0.24
41年目	H 75 2063	0.1407	92.1			1.64	0.23
42年目	H 76 2064	0.1353	92.1			1.64	0.22
43年目	H 77 2065	0.1301	92.1			1.64	0.21
44年目	H 78 2066	0.1251	92.1			1.64	0.20
45年目	H 79 2067	0.1203	92.1			1.64	0.20
46年目	H 80 2068	0.1157	92.1			1.64	0.19
47年目	H 81 2069	0.1112	92.1			1.64	0.18
48年目	H 82 2070	0.1069	92.1			1.64	0.18
49年目	H 83 2071	0.1028	92.1			1.64	0.17
合計							
単純事業費計				220.50	175.37	81.90	25.72

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。  
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。  
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。





便益の現在価値算定表(残事業)

箇所名: 一般国道27号 西舞鶴道路

年次	年度 (基準年) H 25	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿内陸ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレータ	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)				事故減少便益 (億円)		合計 (億円)		
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 34	0.99899	0.99546	1.01523	1.00136	0.7026	92.1	13.52	3.39	5.31	22.21	14.85	1.51	0.20	0.77	2.47	1.65	0.86	0.58	25.55	17.08
1年目	H 35	0.99898	0.99544	1.01501	1.00136	0.6756	92.1	13.51	3.37	5.39	22.27	14.31	1.51	0.20	0.78	2.48	1.60	0.86	0.55	25.61	16.46
2年目	H 36	0.99898	0.99542	1.01478	1.00135	0.6496	92.1	13.49	3.36	5.47	22.32	13.79	1.51	0.20	0.79	2.49	1.54	0.86	0.53	25.67	15.87
3年目	H 37	0.99898	0.99540	1.01457	1.00135	0.6246	92.1	13.48	3.34	5.55	22.37	13.29	1.51	0.19	0.80	2.50	1.49	0.87	0.51	25.74	15.29
4年目	H 38	0.99898	0.99538	1.01436	1.00135	0.6006	92.1	13.47	3.32	5.63	22.42	12.81	1.50	0.19	0.81	2.51	1.43	0.87	0.50	25.80	14.74
5年目	H 39	0.99898	0.99536	1.01416	1.00135	0.5775	92.1	13.45	3.31	5.71	22.47	12.35	1.50	0.19	0.82	2.52	1.38	0.87	0.48	25.86	14.21
6年目	H 40	0.99898	0.99533	1.01396	1.00135	0.5553	92.1	13.44	3.29	5.79	22.52	11.90	1.50	0.19	0.84	2.53	1.34	0.87	0.46	25.92	13.70
7年目	H 41	0.99898	0.99531	1.01377	1.00135	0.5339	92.1	13.42	3.28	5.87	22.58	11.47	1.50	0.19	0.85	2.54	1.29	0.87	0.44	25.98	13.20
8年目	H 42	0.99147	0.99369	1.00195	0.99395	0.5134	92.1	13.41	3.26	5.95	22.63	11.05	1.50	0.19	0.86	2.55	1.24	0.87	0.43	26.05	12.72
9年目	H 43	0.99140	0.99365	1.00195	0.99391	0.4936	92.1	13.30	3.24	5.97	22.50	10.57	1.49	0.19	0.86	2.54	1.19	0.87	0.41	25.91	12.17
10年目	H 44	0.99132	0.99361	1.00195	0.99387	0.4746	92.1	13.18	3.22	5.98	22.38	10.11	1.47	0.19	0.86	2.52	1.14	0.86	0.39	25.76	11.63
11年目	H 45	0.99125	0.99357	1.00194	0.99384	0.4564	92.1	13.07	3.20	5.99	22.26	9.67	1.46	0.19	0.86	2.51	1.09	0.86	0.37	25.62	11.13
12年目	H 46	0.99117	0.99353	1.00194	0.99380	0.4388	92.1	12.95	3.18	6.00	22.13	9.24	1.45	0.19	0.87	2.50	1.04	0.85	0.35	25.48	10.64
13年目	H 47	0.99109	0.99348	1.00194	0.99376	0.4220	92.1	12.84	3.16	6.01	22.01	8.84	1.43	0.18	0.87	2.49	1.00	0.84	0.34	25.34	10.18
14年目	H 48	0.99101	0.99344	1.00193	0.99372	0.4057	92.1	12.72	3.14	6.02	21.89	8.45	1.42	0.18	0.87	2.47	0.95	0.84	0.32	25.20	9.73
15年目	H 49	0.99093	0.99340	1.00193	0.99368	0.3901	92.1	12.61	3.12	6.04	21.76	8.08	1.41	0.18	0.87	2.46	0.91	0.83	0.31	25.06	9.30
16年目	H 50	0.99085	0.99335	1.00192	0.99364	0.3751	92.1	12.50	3.10	6.05	21.64	7.72	1.40	0.18	0.87	2.45	0.87	0.83	0.30	24.92	8.89
17年目	H 51	0.99076	0.99331	1.00192	0.99360	0.3607	92.1	12.38	3.08	6.06	21.52	7.38	1.38	0.18	0.87	2.44	0.84	0.82	0.28	24.78	8.50
18年目	H 52	0.99068	0.99327	1.00192	0.99356	0.3468	92.1	12.27	3.06	6.07	21.39	7.06	1.37	0.18	0.88	2.42	0.80	0.82	0.27	24.64	8.13
19年目	H 53	0.99059	0.99322	1.00191	0.99352	0.3335	92.1	12.15	3.04	6.08	21.27	6.75	1.36	0.18	0.88	2.41	0.77	0.81	0.26	24.50	7.77
20年目	H 54	0.99050	0.99317	1.00191	0.99347	0.3207	92.1	12.04	3.02	6.09	21.15	6.45	1.35	0.18	0.88	2.40	0.73	0.81	0.25	24.36	7.43
21年目	H 55	0.99041	0.99313	1.00191	0.99343	0.3083	92.1	11.92	3.00	6.11	21.02	6.17	1.33	0.17	0.88	2.39	0.70	0.80	0.24	24.21	7.10
22年目	H 56	0.99032	0.99308	1.00190	0.99339	0.2965	92.1	11.81	2.97	6.12	20.90	5.90	1.32	0.17	0.88	2.38	0.67	0.80	0.22	24.07	6.79
23年目	H 57	0.99022	0.99303	1.00190	0.99334	0.2851	92.1	11.69	2.95	6.13	20.78	5.64	1.31	0.17	0.88	2.36	0.64	0.79	0.21	23.93	6.49
24年目	H 58	0.99013	0.99298	1.00189	0.99330	0.2741	92.1	11.58	2.93	6.14	20.65	5.39	1.29	0.17	0.89	2.35	0.61	0.79	0.21	23.79	6.20
25年目	H 59	0.99003	0.99293	1.00189	0.99325	0.2636	92.1	11.47	2.91	6.15	20.53	5.15	1.28	0.17	0.89	2.34	0.59	0.78	0.20	23.65	5.93
26年目	H 60	0.98993	0.99288	1.00189	0.99321	0.2534	92.1	11.35	2.89	6.16	20.41	4.92	1.27	0.17	0.89	2.33	0.56	0.78	0.19	23.51	5.67
27年目	H 61	0.98982	0.99283	1.00188	0.99316	0.2437	92.1	11.24	2.87	6.18	20.28	4.70	1.26	0.17	0.89	2.31	0.54	0.77	0.18	23.37	5.42
28年目	H 62	0.98972	0.99278	1.00188	0.99311	0.2343	92.1	11.12	2.85	6.19	20.16	4.49	1.24	0.17	0.89	2.30	0.51	0.77	0.17	23.23	5.18
29年目	H 63	0.98961	0.99273	1.00188	0.99307	0.2253	92.1	11.01	2.83	6.20	20.04	4.30	1.23	0.17	0.89	2.29	0.49	0.76	0.16	23.09	4.95
30年目	H 64	0.98950	0.99267	1.00187	0.99302	0.2166	92.1	10.89	2.81	6.21	19.91	4.10	1.22	0.16	0.90	2.28	0.47	0.76	0.16	22.95	4.73
31年目	H 65	0.98939	0.99262	1.00187	0.99297	0.2083	92.1	10.78	2.79	6.22	19.79	3.92	1.20	0.16	0.90	2.26	0.45	0.75	0.15	22.81	4.52
32年目	H 66	0.98928	0.99256	1.00187	0.99292	0.2003	92.1	10.67	2.77	6.23	19.67	3.75	1.19	0.16	0.90	2.25	0.43	0.74	0.14	22.67	4.32
33年目	H 67	0.98916	0.99251	1.00186	0.99287	0.1926	92.1	10.55	2.75	6.25	19.54	3.58	1.18	0.16	0.90	2.24	0.41	0.74	0.14	22.52	4.13
34年目	H 68	0.98904	0.99245	1.00186	0.99282	0.1852	92.1	10.44	2.73	6.26	19.42	3.42	1.17	0.16	0.90	2.23	0.39	0.73	0.13	22.38	3.94
35年目	H 69	0.98892	0.99239	1.00186	0.99277	0.1780	92.1	10.32	2.71	6.27	19.30	3.27	1.15	0.16	0.90	2.22	0.38	0.73	0.12	22.24	3.77
36年目	H 70	0.98880	0.99234	1.00185	0.99271	0.1712	92.1	10.21	2.69	6.28	19.17	3.12	1.14	0.16	0.91	2.20	0.36	0.72	0.12	22.10	3.60
37年目	H 71	0.98867	0.99228	1.00185	0.99266	0.1646	92.1	10.09	2.67	6.29	19.05	2.98	1.13	0.16	0.91	2.19	0.34	0.72	0.11	21.96	3.44
38年目	H 72	0.98854	0.99222	1.00185	0.99260	0.1583	92.1	9.98	2.65	6.30	18.93	2.85	1.12	0.15	0.91	2.18	0.33	0.71	0.11	21.82	3.29
39年目	H 73	0.98841	0.99216	1.00184	0.99255	0.1522	92.1	9.87	2.62	6.31	18.81	2.72	1.10	0.15	0.91	2.17	0.31	0.71	0.10	21.68	3.14
40年目	H 74	0.98827	0.99209	1.00184	0.99249	0.1463	92.1	9.75	2.60	6.33	18.68	2.60	1.09	0.15	0.91	2.15	0.30	0.70	0.10	21.54	3.00
41年目	H 75	0.98813	0.99203	1.00184	0.99244	0.1407	92.1	9.64	2.58	6.34	18.56	2.48	1.08	0.15	0.91	2.14	0.29	0.70	0.09	21.40	2.86
42年目	H 76	0.98799	0.99197	1.00183	0.99238	0.1353	92.1	9.52	2.56	6.35	18.44	2.37	1.06	0.15	0.92	2.13	0.27	0.69	0.09	21.26	2.74
43年目	H 77	0.98785	0.99190	1.00183	0.99232	0.1301	92.1	9.41	2.54	6.36	18.31	2.27	1.05	0.15	0.92	2.12	0.26	0.69	0.09	21.12	2.61
44年目	H 78	0.98770	0.99184	1.00183	0.99226	0.1251	92.1	9.29	2.52	6.37	18.19	2.16	1.04	0.15	0.92	2.10	0.25	0.68	0.08	20.97	2.50
45年目	H 79	0.98754	0.99177	1.00182	0.99220	0.1203	92.1	9.18	2.50	6.38	18.07	2.07	1.03	0.15	0.92	2.09	0.24	0.68	0.08	20.83	2.38
46年目	H 80	0.98739	0.99170	1.00182	0.99214	0.1157	92.1	9.07	2.48	6.40	17.94	1.98	1.01	0.14	0.92	2.08	0.23	0.67	0.07	20.69	2.28
47年目	H 81	0.98723	0.99163	1.00182	0.99208	0.1112	92.1	8.95	2.46	6.41	17.82	1.89	1.00	0.14	0.92	2.07	0.22	0.67	0.07	20.55	2.17
48年目	H 82	0.98706	0.99156	1.00181	0.99201	0.1069	92.1	8.84	2.44	6.42	17.70	1.80	0.99	0.14	0.93	2.06	0.21	0.66	0.07	20.41	2.08
49年目	H 83	0.98689	0.99149	1.00181	0.99195	0.1028	92.1	8.72	2.42	6.43	17.57	1.72	0.97	0.14	0.93	2.04	0.20	0.66	0.06	20.27	1.98
合計								572.55	145.98	304.81	1,023.34	317.86	63.98	8.52	43.96	116.46	35.96	38.98	12.18	1,178.78	365.99

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道27号	西舞鶴道路	4	4.9km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					11,288		
改良費					2,458		
			土工	m <sup>3</sup>	519,820	1,517	切土(126,350m <sup>3</sup> )、盛土(393,470m <sup>3</sup> )
			軟弱地盤改良工	m <sup>3</sup>			
			法面工	m <sup>2</sup>	39,940	57	切土法面、盛土法面
			擁壁工	式	1	587	重力式擁壁、モタレ式擁壁、ブロック積擁壁等
			函渠工	m	665	297	
橋梁費					4,651		
			100m以上	m	735	4,651	連続高架橋2橋
			100m未満	m			
トンネル費					3,347		
			N A T M	m	678	3,347	2本(上下線)
			シールド	m			
IC・JCT費							
			I C	箇所			
			J C T	箇所			
舗装費					705		
			車道舗装	m <sup>2</sup>	95,760	635	
			歩道舗装	m <sup>2</sup>	24,780	70	
付帯施設費					127		
			交通管理施設工	式	1	127	標識工、防護柵工、道路照明等
			遮音壁	m			
②用地及補償費					10,396		
用地費					155,807	5,956	
			宅地	m <sup>2</sup>	59,216	5,387	
			田畑	m <sup>2</sup>	57,832	499	
			山林・原野	m <sup>2</sup>	38,759	70	
			補償費	式	1	4,440	
③間接費						2,816	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費						24,500	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道27号	西舞鶴道路	4	4.9km

### ■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					11,288		
改良費					2,458		
土工					m <sup>3</sup> 519,820	1,517	切土(126,350m <sup>3</sup> )、盛土(393,470m <sup>3</sup> )
軟弱地盤改良工					m <sup>3</sup>		
法面工					m <sup>2</sup> 39,940	57	切土法面、盛土法面
擁壁工					式 1	587	重力式擁壁、モタレ式擁壁、ブロック積擁壁等
函渠工					m 665	297	
橋梁費					4,651		
100m以上					m 735	4,651	連続高架橋2橋
100m未満					m		
トンネル費					3,347		
N A T M					m 678	3,347	2本(上下線)
シールド					m		
IC・JCT費							
I C					箇所		
J C T					箇所		
舗装費					705		
車道舗装					m <sup>2</sup> 95,760	635	
歩道舗装					m <sup>2</sup> 24,780	70	
付帯施設費					127		
交通管理施設工					式 1	127	標識工、防護柵工、道路照明等
遮音壁					m		
②用地及補償費					9,453		
用地費					141,681	5,416	
宅地					m <sup>2</sup> 53,847	4,899	
田畑					m <sup>2</sup> 52,589	454	
山林・原野					m <sup>2</sup> 35,245	64	
補償費					式 1	4,037	
③間接費					式	2,412	地質調査、測量、設計にかかる費用等
全体事業費					式 1	23,153	

#### 【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用する。
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

(事業全体、残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道27号	西舞鶴道路	4	4.9km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	4.9	1,350	巡回、清掃、除草等
修繕費	式	1	7,250	橋梁0.7km、トンネル0.7km
その他	式	1	0	
維持管理費合計			8,600	

国近整企画第79号  
平成25年11月14日

京都府知事 殿

近畿地方整備局長

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る  
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成25年12月2日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成25年11月27日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

## 【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道27号西舞鶴道路	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

5道計第241号  
平成25年11月26日

国土交通省近畿地方整備局長  
池内 幸司 様

京都府知事 山田 啓二



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）  
の作成に係る意見照会について（回答）

平成25年11月14日付け国近整企画第79号で、意見照会の件について、  
下記のとおり回答します。

記

一般国道27号西舞鶴道路は、周辺地域の交通渋滞の緩和、舞鶴若狭自動車道と京都舞鶴港とのアクセス改善が期待されており、対応方針（原案）のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成をお願いします。

